

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	解剖学1	講義	4	80	解剖学、生理学
学科 ・ 学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸・1年生	今田裕久 伊藤栞里	☐ 有 ☒ 無	特記事項なし		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
人体を構成する運動器(骨・筋)についての名称・部位の記憶をし、人体図をみても列挙出来るようにする。 骨・筋の名称、部位名のみだけではなく、作用、支配神経等を含めて覚える。 運動器の機能を、関節構造や関節運動も含めて説明できることも目指す。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
運動器(骨・筋)については、文献上の学習だけではなく、実際に主要学習部位の触知も出来るようにする。					
教科書・参考書					
公益社団法人 東洋療法学校協会 編【解剖学 第2版】					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 【 受講科目受講時留意点 】 ●自己管理不足によって配布プリントの紛失した場合、再配布は原則としておこなわない。(欠席した場合、次回授業までに用意をする。)					
成績評価方法					
評価 方法	評価 割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期 試験	100	定期試験(前期・後期)をおこない評価する。			
その他	0				
(合計)	100				